

令和5年度広島大学特別支援学校教諭免許法認定通信教育

シラバス

1) 視覚障害者の心理・生理・病理

開設科目（授業科目）名	視覚障害者の心理・生理・病理（R5 認定通信）	
講師名	広島大学大学院人間社会科学研究科 准教授 氏間和仁	
開講期日	令和5年12月16日～17日	
講義内容		
視覚障害（盲・弱視）のある幼児児童生徒の起因疾患と発達及び心理学に基づいた評価及びそれらの理解に欠かせない解剖・生理の内容について学習する。これにより、視覚障害の状態やその評価、発達及び認知の特性を理解することを目指す。また、視覚障害のある幼児児童生徒の発達支援に関連して、家庭や関係機関との連携についても理解を深める。		
一 日 目	8:45-9:00	オリエンテーション
	講義1 (9:00-10:30)	視覚障害の概要
	講義2 (10:45-12:15)	視覚に関する器官の構造と機能
	講義3 (13:15-14:45)	視覚障害教育で遭遇する眼疾患
	講義4 (15:00-16:30)	機能的視覚の心理学に基づいた評価（分離閾の視点から）
二 日 目	講義5 (9:00-10:30)	機能的視覚の心理学に基づいた評価（見える範囲の視点から）
	講義6 (10:45-12:15)	弱視のある子供の発達と課題（書字・読字の観点から）
	講義7 (13:15-14:45)	盲のある子供の発達と課題（移動・触察の観点から）
	講義8 (15:00-16:30)	視覚障害のある児童生徒と家庭・関連機関との連携 試験：レポート

【携行品】

- ・クリアホルダを使用します。濃さのことなるクリアホルダを2種類準備してください。
- ・電卓を利用します。スマートフォンの電卓をご準備ください。

※ランドルト環の貸し出しを希望する方はお知らせください。先着10名の方に貸し出します。
ただし、送料はご自身でご負担ください。

2) 聴覚障害者の教育課程・指導法

開設科目（授業科目）名	聴覚障害者の教育課程・指導法（R5 認定通信）	
講師名	広島大学大学院人間社会科学研究科 准教授 新海晃	
開講期日	令和5年12月9日～10日	
講 義 内 容		
聴覚障害教育における教育制度・システムに関する基礎的事項（教育課程，教育機関の機能・役割等）について学習するとともに、聴覚障害教育の現状について理解を深める。また、障害の特性や心身の発達段階，言語・コミュニケーションの観点から聴覚障害児の教育・指導法について学習する。		
一 日 目	8:45-9:00	オリエンテーション
	講義 1 (9:00-10:30)	聴覚障害に関する基礎的事項／特別支援学校学習指導要領と教育課程
	講義 2 (10:45-12:15)	聴覚障害児を対象とする教育機関とその特徴
	講義 3 (13:15-14:45)	聴覚障害教育の現状と動向
二 日 目	講義 4 (15:00-16:30)	聴覚障害教育におけるコミュニケーション手段
	講義 5 (9:00-10:30)	聴覚障害児の教育・指導・支援（1）発達的特徴
	講義 6 (10:45-12:15)	聴覚障害児の教育・指導・支援（2）教科の指導と配慮事項
	講義 7 (13:15-14:45)	聴覚障害児の教育・指導・支援（3）自立活動／教科学習と自立活動
	講義 8 (15:00-16:30)	聴覚障害児とことばの育ち 試験：レポート

【携行品】

特にありません。

3) 肢体不自由者の心理・生理・病理

開設科目（授業科目）名	肢体不自由者の心理・生理・病理（R5 認定通信）	
講師名	広島大学大学院人間社会科学研究科 准教授 船橋篤彦	
開講期日	令和5年12月2日～3日	
講 義 内 容		
<p>肢体不自由のある幼児児童生徒の起因疾患と心理発達及び生理的変化の特徴について学習する。これにより、肢体不自由の状態や感覚機能の発達、知能の発達及び認知の特性を理解することを目指す。また、肢体不自由児の発達支援に関連して、家庭や関係機関との連携についても理解を深める。</p>		
一 日 目	8:45-9:00	オリエンテーション
	講義 1 (9:00-10:30)	肢体不自由の原因となる疾患①（脳性疾患と筋疾患）
	講義 2 (10:45-12:15)	肢体不自由の原因となる疾患②（脊椎疾患と骨疾患）
	講義 3 (13:15 -14:45)	肢体不自由者における姿勢・運動機能の発達（心理・生理的変化）
	講義 4 (15:00-16:30)	肢体不自由者における感覚・認知機能の発達
二 日 目	講義 5 (9:00-10:30)	肢体不自由者における情動・社会性の発達
	講義 6 (10:45-12:15)	肢体不自由者におけるコミュニケーション発達
	講義 7 (13:15 -14:45)	肢体不自由者に対する包括的発達支援（家庭や関係機関との連携）
	講義 8 (15:00-16:30)	医療的ケア児の支援に向けて 試験：レポート

【携行品】

講義中に演習を実施するため、筆記用具・メモ用紙・イヤホンをご準備ください。

4) 病弱者の心理・生理・病理

開設科目（授業科目）名	病弱者の心理・生理・病理（R5 認定通信）	
講師名	広島大学大学院人間社会科学研究科 助教 村上理絵	
開講期日	令和5年11月25日～26日	
講義内容		
<p>病弱教育の対象となる幼児児童生徒の心理発達及び生理的変化の特徴について学習し、院内学級等での教育支援など病弱者教育の実際に触れながら、実践に生きる知識の修得を目指す。また、病弱教育では、「学習の空白を埋める」ことが大きな教育目標となる。院内学級と原籍校や、学校と医療との連携の在り方、保護者やきょうだいが抱える不安、病気理解と自己理解についても学ぶ。</p>		
一 日 目	8:45-9:00	オリエンテーション
	講義1 (9:00-10:30)	病弱の生理・病理1 小児がん、腎臓病、進行性筋ジストロフィー等の原因と治療
	講義2 (10:45-12:15)	病弱の生理・病理2 心臓病、重複障害等の原因と治療
	講義3 (13:15-14:45)	病気に関する病弱者の悩みや不安
	講義4 (15:00-16:30)	学校や学習に関する病弱者の悩みや不安
二 日 目	講義5 (9:00-10:30)	病弱者の病気理解と自己理解
	講義6 (10:45-12:15)	保護者やきょうだいの心理について
	講義7 (13:15-14:45)	学校における配慮事項 教科指導・生活指導
	講義8 (15:00-16:30)	教育と医療との連携 試験：レポート

【携行品】

講義中にディスカッションを実施するため、筆記用具とメモ用紙をご準備ください。